

コンテストの主旨

平成22年春、秦野市で全国植樹祭が行われます。この植樹祭で配布する記念品のデザインと、植樹祭の会場となる県立戸川公園をはじめとして、秦野の里地里山に設置、展示したり、植樹祭に合わせて製品化することで、一層の魅力を高めることのできるような作品のデザインを募集します。

このコンテストは、平成16年から秦野市ではじまった、環境省、林野庁、神奈川県などが参加する里地里山保全再生モデル事業の一環として行われるものです。

秦野市内にある30を超える里山保全団体と、大学、企業、団体、専門家、市民、行政等が連携し、本コンテストを全国に呼びかけ行うことで、新たなまなざしが、秦野を取り巻く森林、里地里山へ注がれ、その一つの形としてのデザインを、募集、選考、作品化する一連の過程の中で、多くの方々に森と木と里地里山との新たなつながりが生まれることを願っています。

このコンテストの選考会は、2007年完成した「表丹沢野外活動センター」で行います。地元材を100%活用して建設した杉の建物です。このセンターの暖房は、チップボイラーです。燃料となるチップは、森林組合や里山保全団体の管理作業の中で搬出された間伐材や雑木です。森林の整備、里山の保全活動と施設の給湯と暖房が地場産の資源で行われたことで、木のぬくもりと暖かみあふれるセンターです。

募集する作品、コンテストの締め切り、作品の選考方法等は、本紙に詳細を記載していますのでご覧ください。秦野の里地里山をもっとくわしく知りたい方は、ホームページをご覧ください。皆様からの作品の応募をお待ちしています。

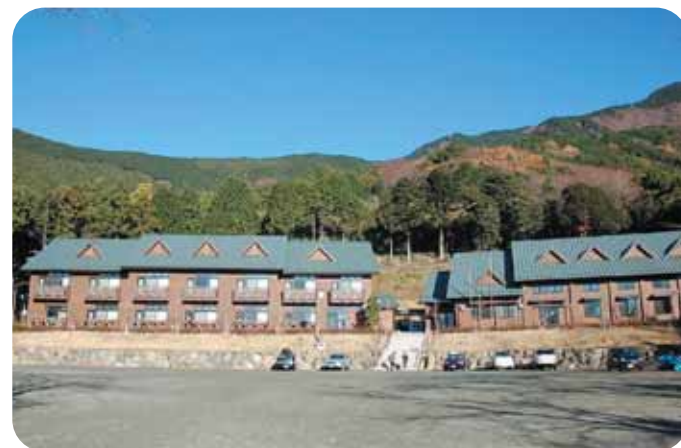
はだのの里地里山
<http://satochi.net/hadano/>

秦野市森林づくり課
<http://navi.city.hadano.kanagawa.jp/sinrin/index.html>

はだの里山保全再生活動団体等連絡協議会
<http://navi.city.hadano.kanagawa.jp/sinrin/satorenkyou/satoren.html>



平成22年全国植樹祭の会場の一つとなる戸川公園



表丹沢野外活動センター

里地里山保全活動に参加するには

◆団体がたくさんあります
秦野市内には30を越える活動団体があり、市内各所で活動しています。各団体では随時活動参加者を募集しています。フィールドは、林・水田・畑など様々です。団体の連絡先等については秦野市森林づくり課にお問合せください。学校の授業やサークル活動等にも相談に応じます。

◆里地里山保全活動ボランティア養成講座
里地里山保全活動の基礎的な知識と技術を学びたい方のため、秦野市では、例年、ボランティア養成講座を行っています。はだの里地里山保全再生活動連絡協議会（市内の活動団体の連携組織）と連携しての、実践的な研修です。関心のある方はお問合せください。

問合せ：
秦野市森林づくり課
Tel 0463-82-9631



はだのぬくもりを感じるデザイン募集



表丹沢・間伐材等活用 デザインコンテスト



主催：はだの里山保全再生活動団体等連絡協議会
共催：日本全国スギダラケ倶楽部
後援：林野庁、環境省、(社)国土緑化推進機構、美しい森林づくり全国推進会議、神奈川県、秦野市
(予定)
このコンテストは(社)国土緑化推進機構「緑の募金」の助成を受けて実施します。

はだのぬくもりを感じるデザイン 表丹沢・間伐材等活用デザインコンテスト 募集要項

募集内容

人工林や里山を手入れして得られる間伐材（針葉樹、広葉樹、竹等）を利用してできる作品で、木のぬくもりを感じ、森や里地里山に親しむことにつながるような作品のデザインを募集します。

<記念品部門>

平成22年春の第61回全国植樹祭で配布する記念品にふさわしいもの（持ち帰りできるもの）

<里山部門>

遊ぶ・休む・風景を楽しむ・道具を収納するなど、里地里山で活用できるもの
街中や公共施設、学校等に設置して、たくさんの人に気軽に利用してもらえるもの
各家庭等で利用しながら森や里山のめぐみを感じることができるもの

（例）ベンチ、道具小屋、休憩小屋、観察小屋、ツリーハウス、小型家具等

*常設、仮設、移動式等を問いません。

*小屋等の場合、床面積は約2坪以内とします。



対象

どなたでも

- ・学生（高校生、専門学校生含む）、一般、いずれも可能。
- ・個人応募・グループ応募、いずれも可能。
- ・居住地不問、秦野市民はもちろん全国から応募可能。



審査員

- 委員長：宮林茂幸 東京農業大学教授・美しい森林づくり全国推進会議
副委員長：南雲勝志 ナグモデザイン事務所・日本全国スギダラケ倶楽部代表
委員：若杉浩一 株式会社内田洋行 テクニカルデザインセンター
委員：竹田純一 財団法人水と緑の惑星保全機構・里地ネットワーク事務局長
委員：林野庁 森林整備部 森林保全推進室
委員：環境省 自然環境局自然環境計画課
委員：神奈川県 環境農政部森林課 全国植樹祭推進室
委員：高橋生志雄 秦野市副市長
委員：古谷角造 はだの里山保全再生活動団体等連絡協議会会長

審査及び入賞

<第一次審査（デザイン審査）>

- ・提出物：デザイン図…上質紙A3版1枚程度に下記を適宜配置
作品タイトル、デザインコンセプト、図面、説明等
裏面に応募者氏名（全員）、住所、電話番号
- ・締切：2009年4月30日（木）（当日消印有効）
- ・表彰式：2009年5月24日（日）（プレ植樹祭）
- ・入賞：10点程度（記念品部門5点、里山部門5点）
副賞：試作品製作のための材、及び費用の一部（上限10万円）
*提供する材の樹種・量はご希望に添えないことがあります。

<第二次審査（試作品審査）>

- ・提出物：試作品
- ・締切：2009年8月14日（金）
- ・審査会：2009年8月21日（金）
- ・表彰式：2009年11月3日（火）
- ・入賞・副賞：両部門を通して3点程度
最優秀賞 1点程度 賞金30万円
優秀賞 2点程度 賞金10万円

*審査会は、試作品を展示しプレゼンテーションを行ってもらい、最終決定いたします。

*作品によっては、野外等、使用する現地に設置して審査を行います。

*優秀作品に関しては、実用化・商品化を検討・支援します。販売可能となった場合は、売り上げの一部を本事業を助成いただいている「緑の募金」に寄付します。

*記念品部門の優秀作品については、平成22年春開催の第61回全国植樹祭において、記念品として全国からの招待者に配布する予定です。



著作権と費用等

- ・応募作品の 著作権・著作権、その他一切の権利は主催者に帰属するものとします。
但し、商品化の検討を行う場合は、制作者、審査委員会、商品化のために関わる組織等との協議の上、著作権・著作権の調整を行います。
- ・応募作品、作品データは原則として返却しません。
- ・実用化にあたり、主催者側で一部、デザインや素材等を変更する場合があります。
- ・応募にかかる費用・副賞を超える試作費用は、応募者でご負担下さい。

応募先・問合せ

応募作品は、下記いずれかに持参または郵送して下さい。

・はだの里山保全再生活動団体等連絡協議会
〒259-1301 神奈川県秦野市羽根988番地
Tel：0463-82-9631 Fax：0463-82-5391

・里地ネットワーク内 地場産材活用デザインコンテスト
〒105-0003 東京都港区西新橋2-16-2-3階
Tel：03-5404-4846 Fax：03-5404-4847
電子メール：saisei@satochi.net